

# 平成29年 第8回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年8月29日(火)  
午後3時00分～午後4時08分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員 教 育 長 吉 原 孝  
教育長職務代理者 三 宅 義 雅  
委 員 田 中 保 和  
委 員 山 崎 裕 行  
委 員 近 藤 温 子
4. 出席した職員 教 育 部 長 尾 野 晋 一  
次長兼教育総務課長 福 島 潔  
次長兼学務課長 松 田 成 史  
文化財課長 一 松 孝 博  
公民館長 酒 谷 敬三郎  
図書館長 山 角 清 治  
指導課長 野 間 浩 一  
スポーツ推進課参事兼課長補佐 平 谷 和 成  
学務課参事兼課長補佐 北 井 啓 司  
健康福祉部長 石 橋 敬 三  
事務局教育総務課 寺 川 款
5. 議事案件  
議案第38号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について  
議案第39号 柏原市学力向上対策委員会規則の一部改正について  
議案第40号 柏原市スクールバス負担金徴収条例の制定の同意について

## 6. 報告事項 他

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

吉原教育長： 只今より、平成29年 第8回定例教育委員会会議を開催いたします。本日の会議録署名については、山崎 裕行 委員、よろしく願いいたします。初めに、平成29年 第7回定例教育委員会会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録の内容につきまして、何かご意見はございますか。

委員全員 : (異議なし)

吉原教育長： それでは第7回定例教育委員会会議の会議録は承認することといたします。

それでは議事に入ります。本日の議事案件は3件ございます。最初に議案第38号について、教育総務課の方から説明をお願いします。

福島次長： 教育総務課より、ご説明いたします。議案書の1ページを、お開き願います。

議案第38号柏原市教育委員会事務局職員人事の承認についてで、ございます。平成29年8月1日付で教育委員会事務局職員の任免をいたしました、課長級以上の異動の承認につきましては、議案書2ページのとおりでございます。また、その他の職員につきましては、3ページの参考資料のとおりでございます。事後の承認となりますが、あらためて承認の程、よろしく願いいたします。

吉原教育長： ただ今、教育総務課から説明がありましたが、この議案につきまして何かご質問はございますか。

委員全員： (意見・質問等なし)

吉原教育長： 議案第38号について、原案どおり承認してよろしいですか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは、議案第38号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認については、原案どおり承認することといたします。続きまして、議案第39号について、指導課 野間長から説明をお願いします。

野間課長： 議案第39号「柏原市学力向上対策委員会規則の一部改正」について、指導課よりご説明申し上げます。柏原市学力向上対策委員会は、平成26年5月に本市の附属機関として規則制定されまして、平成26年10月に第1回目の会議がスタートし、今年で4年目に入りました。この間、本市の学力向上施策において、多くのご助言をいただきました。この4年間で、新しい学習指導要領の全面实施や、特別の教科道徳、英語教育など、専門的な視点で新たに取り組む事が必要となってきました。そこで、より、特定科目の学力向上について、当該科目に対して知識を持つ者を委員として任命し、専門的な見地でご意見を伺うため、規則改正を行うものでございます。ご審議いただきますようお願いいたします。

吉原教育長： 今考えているのは、どの教科に関する委員を増員する予定ですか。

野間課長： 小学校の教科化ということで、英語教育の方を考えております。

吉原教育長： 英語は高学年の英語という教科で、中学年は外国語、それも教科書がないわけですから、外国語活動をしっかりと研究して、スムーズに移行できるようにしてもらいたい。それと新しいところでいうと、プログラミングというのも今後小学校・中学校で出てきますので、その辺りについては現時点でどんな考え方をされていますか。

野間課長： プログラミングにつきましては、本市のパソコンの状態を考慮しますと難しいのではないかと考えております。しかし、プログラミングの考え方及びアルゴリズム等は大事だと思いますので、そういったことを教えることについては、パソコンを使わないで教えるという方法もあるのではないかと研究していきたいと考えております。

吉原教育長： パソコンなしでプログラミングを学ぶという手法は、そういう専門の知識を持たれている方はおられますか。

野間課長： 現在他府県でもそのようなことで進めている自治体がございます。プログラミングの方につきましても課題でございますので、専門の先生がおられたら、ご推薦いただきまして委員になっていただきたいと考えております。

吉原教育長： 教育委員会としては厳しい財政状況のなか、普通教室への空調設備設置やトイレの改修などを順次整備していく計画もありますけれども、パソコンの方も少し計画的に進めていく必要があると思います。その辺り、今後どういう計画でしていくのか、新しい学習指導要領への移行の時期も踏まえて、また、ソフトが古く今のパソコンの状況がよくないということですが、すぐに全員にとというのは無理でしょうから計画的に整備をしていくというのは打ち出すべきではないかと思えます。この件は我々も総合教育会議などを通じてお願いをしていかないといけないと思えます。その辺りどんな計画が描けるのか、少し研究をしていただきたいと思えます。

三宅委員： 英語もそうですが、道徳教育はどうですか。

吉原教育長： 道徳科というのは、今までも教科書がない中で時間を取って行ってきました。もしするとすれば、教科書に沿った教え方というよりは、指導方法の研究を深めていくということになるかと思えます。大阪府教育委員会でもその辺りの動きはありますが、現時点で事務局が考えておりますのは、小学校の外国語・英語というところに限定して、とりあえず、その専門的な知識を持たれている方に来ていただくと、それも必要に応じてこれから拡充していくという考え方でよいのかと思えます。

田中委員： 委員の想定はしておられますか。

野間課長： 何人かの候補がございます。

吉原教育長： この議案につきまして、何かご質問などはございますか。

委員全員： (意見・質問等なし)

吉原教育長： 議案第39号について、原案のとおり承認してよろしいですか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは議案第39号 柏原市学力向上対策委員会委員会規則の一部改正については、原案のとおり改正することにいたします。続いて、議案第40号について、学務課 松田次長より説明をお願いします。

松田次長： 議案第40号につきまして、ご説明をさせていただきます。条例の概要からご説明申し上げます。この柏原市スクールバス負担金徴収条例は、小規模特認校であります堅上小学校を希望して、校区外から通学する児童の保護者を対象として、一部負担金をお願いする条例でございます。次に、条例を提出するに至りました経緯についてご説明申し上げます。堅上小学校へ校区外から通学する特認児童は、路線バスが廃線になってから通学時間の短縮と通学の安全を確保するため、市内循環バスを利用して通学していましたが、児童に割り当てられる座席数が少ないことから、入学募集者数に影響が出てまいりました。平成27年にスクールバスの運行に係る経費が、全額、国からの地方活性化交付金の対象となりましたので、その交付金を活用して平成27年6月から平成28年3月までスクールバスの運行を行いました。平成28年度は、交付金の対象事業となりませんでしたので全額本市が負担して実施致しましたが、財政的に負担額が大

きいことから財政健全化戦略会議において、実施方法の見直しの検討を行った結果、スクールバスを継続的に運行するためには、平成30年度から堅上小学校の校区外から通学する特認児童の保護者の方に、スクールバス運行に係る経費の一部のご負担をお願いすることになりました。負担額は、1か月千円、年間では8月を除いて1万1千円と致します。これは、スクールバスを運行しないと仮定しますと、JR河内堅上駅から歩いて登校することになりますので、児童はJR高井田駅か、JR柏原駅から河内堅上駅まで電車に乗ることになりますことから、JRの定期券購入額を参考にしまして1か月千円と致しました。負担額が大きいと保護者の方が大変になりますし、堅上小学校は特認校で募集しておりますことから入学者数にも影響しますので、年間1万1千円は、妥当な負担額であると考えております。改めて、9ページの方をご覧ください。「柏原市スクールバス負担金徴収条例」条文についてご説明申し上げます。第1条の趣旨及び第2条の負担金の額は、今申し上げたとおりでございます。第3条は、納付期限を定めています。「毎月2日」は、堅上小学校の給食費など学校徴収金の納付日ですのでそれに合わせています。第4条は負担金の免除について、第5条は、負担金の返還について定めています。施行日は、平成30年4月1日を予定しています。なお、先ほどの議案第39号とこの議案第40号につきましては、法務担当と相談しながら条文を作成していますが例規審査会におきまして、細かな文言や他法令との整合性などの確認作業がございますことから、軽微な変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

田中委員：平成29年度も市の方で負担しているということですね。平成27年度のみで、2年間交付金はないのですね。

尾野部長：そうです。

田中委員：保護者にはそういう検討をしているというのは伝わっているのでしたね。

尾野部長：昨年度末に一度話をしています。

松田次長：今年度に入ってから、授業参観の後に特認生の保護者だけ集まり、そこでこの方向性については話をしております。

尾野部長：11月に特認生の募集を行いますので、その時には明記する必要がございますので、この議会で議決をいただく必要がございます。

山崎委員：想定される人数はどれくらいですか。何人くらい乗車するのですか。

尾野部長：来年度は未定ですが、現在は50人弱です。

田中委員：バスは1台ですか。

尾野部長：1台ですが、2回に分けてとなります。

山崎委員：保護者への説明は以前にも聞かせていただき、ご理解は得られるのかと思ったりします。別の話になりますが、横尾地区からの子どもたちの送迎はもうしていないのですか。

松田次長：登校時のみスクールバスを利用して登校してもらっています。

山崎委員：その子どもたちは、この条例の対象外ですね。

尾野部長：あくまでも特認生のみが対象で、校区内の児童は対象外です。堅下南小学校

の3年生以下の児童の登校も同じようにスクールバスを利用していますが、校区内ですの  
で対象外です。

吉原教育長：他にこの議案につきまして、何かご質問などはございますか。

委員全員：（意見等なし）

吉原教育長：議案第40号について、原案のとおり制定に同意してよろしいですか。

委員全員：（異議なし）

吉原教育長：それでは、議案第40号 柏原市スクールバス負担金徴収条例の制定の同意  
について、原案のとおり制定に同意することといたします。議案につきましては以上です。

続いて、報告事項に移ります。事務局の方、報告すべき事項はありますか。

平谷参事：【10月議会への議案上程について報告】

松田次長：【大和川での水難事故について報告】

【国分中学校バレーボール部の全国大会への出場についての報告】

野間課長：【全国学力学習状況調査の結果の速報値について報告】

吉原教育長：他に報告事項はありますか。

各課：（報告事項なし）

吉原教育長：以上のようにございますので、平成29年第9回定例教育委員会会議につ  
きましては、平成29年9月15日（金）の予定でよろしいですか。

委員全員：（了承）

吉原教育長：以上をもちまして、平成29年第8回定例教育委員会会議を終了します。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成29年8月29日

柏原市教育委員